

**7月12日(月)より、旧定期券うりば・電車とバスの博物館 B 棟を順次シェアオフィス化します
～お客さまと日々接点を持つ駅係員や乗務員などが企画・運営に参画するシェアオフィス～**

東急電鉄株式会社

当社は、今般のテレワークの定着や、住宅地近接のシェアオフィスのニーズの高まりに対応し、7月12日(月)より武蔵小杉駅・長津田駅の旧定期券うりばを暫定活用した個人向けシェアオフィスの提供を開始します。

また、8月1日(日)より、昨年2月末から休館中の「電車とバスの博物館B棟」についても、「大人がワクワクするアミューズメントシェアオフィス」をコンセプトとした個人向けシェアオフィスとして暫定活用を開始します(以上のシェアオフィスサービスをまとめて、以下「本サービス」とする)。

暫定活用期間はいずれも約1年間を予定しています。今後も当社は、駅施設などの空きスペースの有効活用による駅の機能拡充について検討を進めていきます。

本サービスでは、オフィスデザインやオフィス家具のサブスクリプションの導入実績が豊富な株式会社subslifeや、入退室から決済までアプリ内で完結するテレワークプレイス提供サービス「Suup」との協業により、オフィス家具の購入・システム開発などの初期費用や、無人運営による人件費などを削減することで、気軽に利用できる低価格設定を実現しました。また、当社は、このスピード感ある協業により、定期券うりばの営業終了後、5月にスタートしたプロジェクト検討から約2か月という短期間で本サービス開始に至りました。

そのほか、本サービスにおいては、環境に配慮した建材の活用、池上駅や戸越銀座駅で使用していた廃材を再利用する「えきもく」の活用など、環境負荷低減の取り組みも実施しています。

なお、本サービスの企画段階から駅係員や乗務員など複数の現業社員が社内諸制度を活用して一時的に現業から離れ、専属の企画担当として参画しています。また、本サービス開始後、本企画に参画した武蔵小杉・長津田駅の駅係員は駅の新たなサービス運營業務も担い、開業後のお客さまニーズをいち早く察知し、更なるサービス品質向上へつなげる担当として継続的に参画します。お客さまと日々接点を持つ駅係員や乗務員などの意見を積極的に取り入れることで、お客さまのニーズや地域特性を反映したサービス提供を目指します。

加えて、本サービスは、環境配慮型サブスクリプションサービス「TuyTuy」のクーポン提供サービスである「Suup」の対象店舗としてご利用いただけます。

当社は今後も、構造変革による事業基盤の強靱化に取り組むとともに、新しい生活様式にしなやかに対応し、時代に即した社会価値の持続的な提供を目指します。

詳細は別紙の通りです。



▲TSO エキスル長津田外観
(長津田駅旧定期券うりば)



▲電車とバスの博物館 B 棟
キッズワールド モハ510形



▲電車とバスの博物館 B 棟
キッズワールド YS-11

以 上

【別紙】

■シェアオフィス暫定活用施設概要

1. TSO エキ de work Kosugi概要

(武蔵小杉駅旧定期券うりば)

- ・開業:7月12日(月)
- ・営業:7:00-20:00(土日祝日営業)
- ・座席数:5席(うち1席はスタンディング席)
- ・利用料金:100円/15分
※ご利用状況により変更の可能性あり
(設備:Wi-Fi・コンセント有り、個室・電話ブースなし
※web会議・食事不可)



▲TSO エキ de work Kosugi(外観・内観)

2. TSO エキスル長津田概要

(長津田駅旧定期券うりば)

- ・開業:7月12日(月)
- ・営業:7:00-20:00(土日祝日営業)
- ・座席数:9席
- ・利用料金:100円/15分 一日最大1,000円
※ご利用状況により変更の可能性あり
(設備:Wi-Fi・コンセント有り、個室・電話ブースなし
※web会議可・食事不可)



▲TSO エキスル長津田(外観・内観)

3. TSO DENBUSワークスペース(電車とバスの博物館B棟)概要

- ・開業:8月1日(日)
- ・アクセス:宮崎駅徒歩2分
- ・営業:9:30-17:00(博物館の営業日に準ずる)
- ・座席数:30席
- ・利用料金:200円/1時間 一日最大1,000円
※ご利用状況により変更の可能性あり
(設備:Wi-Fi・コンセント有り、個室・電話ブースなし
※飲食・web会議可能スペースあり)

・コンセプト:

「大人がワクワクするアミューズメントシェアオフィス」

- ・普段味わえない電車の客席や、飛行機の操縦席でデスクワーク
- ・アウトドア仕様エリアでは、外で働いているような開放感を味わいながらデスクワーク



▲電車とバスの博物館B棟
キッズワールド モハ510形



▲電車とバスの博物館B棟
キッズワールド プラレールパーク

■利用方法(テレワークプレイス提供サービス「Suup」による無人オペレーションについて)

利用ステップ1:「Suup」アプリをインストールして新規登録(決済情報などの登録)

利用ステップ2:アプリで空席情報をチェック

利用ステップ3:入室後、席のQRコードをスキャン

利用ステップ4:席で勤務を開始

利用ステップ5:お帰りの際は、席のQRコードをスキャン

※途中退室時はQRコードをスキャンしないようご注意ください。

※QRコードの商標は、デンソーウェブの登録商標です。



・「Suup」とは

テレワークを推奨されている企業や個人が、近隣のカフェやレストランを、時間単位で利用できるサービスです。2020年10月にiOSアプリの提供を開始(Android版は2021年1月から)。現在都心エリアを中心に、提携する約150施設(カフェ、レストラン、ホテル、コワーキングスペースなど)をアプリ上で検索し利用できます。

■環境配慮の取り組み

1. 環境に配慮した建材利用

内装の壁紙や床材など、エコマーク認定品を活用。

2. 旧池上駅舎、戸越銀座駅舎の廃材「えきもく」の活用

旧池上駅舎、戸越銀座駅舎の廃材「えきもく」を活用して、一部の机、椅子、備品等を製作。



▲左:えきもく椅子 右:バナナペーパー告知物

3. バナナペーパーの活用

シェアオフィス内の告知物などはバナナペーパーを活用。

※バナナペーパーとは

今までは廃棄されるだけだったオーガニックバナナの茎から取ったバナナ繊維を原料として使用し、日本の和紙の技術を用いて作られたフェアトレードの紙です。

■今回活用した社内諸制度について

当社は、社員のキャリアアップやスキルアップを支援する仕組みを整えています。

1. サポートワークPlus

業務の繁忙期やイベント・開業など一時的に繁忙となる業務について、応募方式により他部門の社員が業務協力をすることで、業務の適正化・イノベーションの創出を図るとともに、制度利用者のキャリア拡充・スキルアップを目指す制度。

【目的】

- ①社内各事業部の繁閑差を利用し、業務の適正化を図る
- ②制度利用者のキャリア拡充・スキルアップ
- ③組織における新たな知見、価値の付与(イノベーションの創出)

2. 公募制度

各部署が提示したポジションや職種の公募に対して、社員が応募、面接等を行うことで異動をする仕組みです。

【参考】協力企業について

■株式会社Subsclife 概要

所在地:東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道218

設立年月日:2016年11月9日

代表:町野 健

事業概要:家具のサブスクリプションサービス「subsclife(サブスクライフ)」の企画・開発・運営

アウトレット・リユース家具のシェアマーケット「subsclife SHARE(サブスクライフシェア)」の企画・開発・運営

公式WEBサイトURL:<https://subsclife.com/about-us/>

※株式会社Subsclifeは東急(株)のオープンイノベーションプログラム「東急アクセラレートプログラム」への応募をきっかけに本サービスへ参画しています。

■Moon Creative Lab Inc. 概要

所在地:660 High Street, Palo Alto, California, 94301 設立年月日:2018年8月23日

代表:横山 賀一

事業概要:三井物産グループの新規事業開発、ビジネスインキュベーションを推進するベンチャースタジオ。

長年の歴史を持つ三井物産は、さまざまな産業や業界で、企業や商品等を「つなぐ」ことで価値を生むことが多かった総合商社の機能・役割を超え、自ら主体的にビジネスを「つくる」存在へ進化していこうとしています。Moon は、44,000人を超える三井物産グループ全社員からアイデアを発掘し、それを具体化する為の機能と環境を提供し、世の中にインパクトのある新しいビジネスの創出を目指します。

公式WEBサイトURL:<https://www.mooncreativelab.com/ja/>

「Suup」サイトURL:<https://suup.me/>